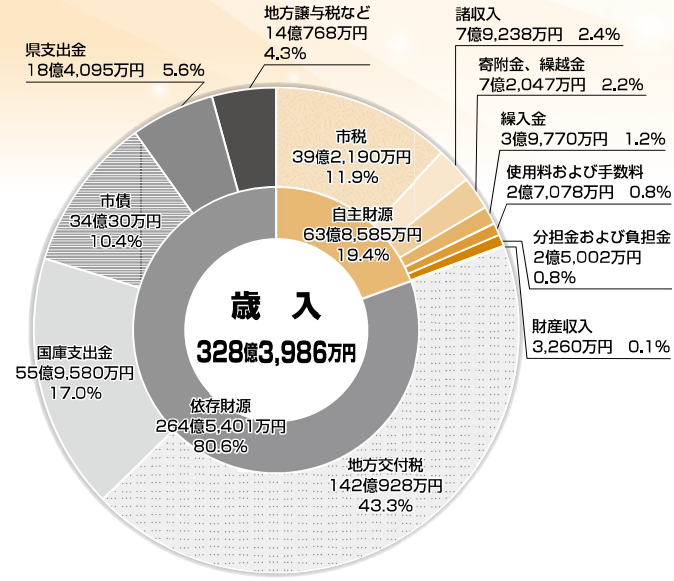


令和3年度の決算が9月議会でご認定されましたのでお知らせします。

一般会計決算では、歳入決算額が32億8,398万6千円（対前年度比4.7%減）、歳出決算額が32億1,427万3千円（同5.5%減）で、歳入歳出差引残額が6億9,713万1千円となりました。なお、翌年度に繰り越すべき財源は2億4,243万7千円であり、実質収支4億5,470万円の黒字となりました。

会計



特別会計

会計	区分	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引残額
国民健康保険事業		42億9,872万円	42億8,540万円	1,332万円
後期高齢者医療事業		11億9,045万円	11億8,104万円	941万円
農業労働災害共済事業		579万円	579万円	0万円
生活排水処理事業		13億1,172万円	13億879万円	293万円
財産区		19万円	19万円	0万円

◎ は一般会計と合わせて普通会計に含まれる特別会計。

監査委員の審査意見書から

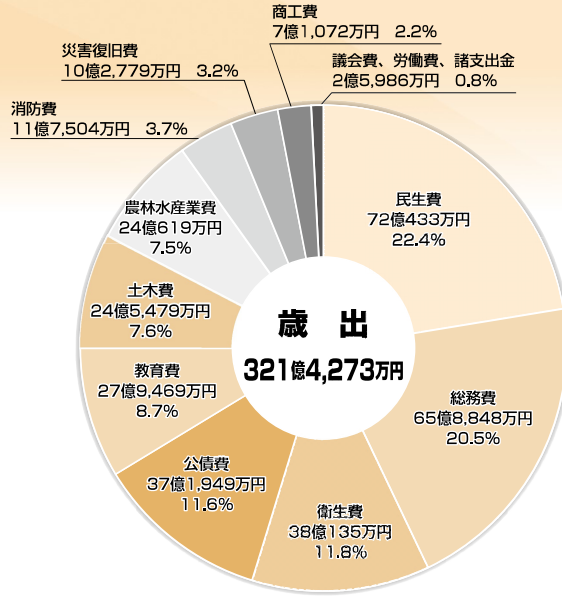
財政健全化法に基づく財政指標である実質公債費比率、将来負担比率についてはいずれも早期健全化基準を下回っているが、中期財政計画による来年度以降増加傾向にあることから地方債発行と起債償還のバランスを図り、財政の弾力化を図っていく必要がある。

人口減少や少子高齢化対策、交流センターを拠点とした地域づくり活動の推進、公共施設の老朽化への対応、道路や橋梁維持の予算確保など、これらの多くの課題を解決し、市民の暮らしを守っていくことは、健全な財政基盤があってはじめて可能となる。令和3年度には加茂交流センターやデジタル防災無線の整備、社会体育施設の調査業務が実施された。令和4年度は引き続き災害復旧事業をはじめ、FTTH<sup>®</sup>整備事業が実施されるとともに、文化施設修繕事業などの大規模事業が予定されていることから、財政状況を確認しつつ事業の推進を図り、第2次雲南市総合計画の実現に向けて、多様な行政課題解決に努められた。

地方自治法に規定されている内部統制は、雲南市においては努力義務となっているが、不適切な事務処理やミスの発生を防ぐためには全庁的なガバナンス強化を図る必要があることから、内部統制の制度化に向け、検討を進められた。終わりに、災害復旧に向け最善を尽くされるとともに、財政健全化への取り組みにあたっては、市民への説明責任を果たしながら、公平かつ簡素で効率的な行政システムの構築に努め、最小の経費で最大の効果が上がる財政運営を推進し、市民福祉の向上と市勢の発展に努められることを望むものである。

※通信サービスで、基地局から各家庭まで光ファイバーをつなげる配線方式。

一般



基金残高

積立金現在高	108億6,234万円
財政調整基金	14億4,025万円
減債基金	44億5,080万円
その他特定目的基金	49億7,129万円
地方債現在高	375億2,190万円

※普通会計における決算額

下段（ ）は令和2年度

令和3年度に実施した  
主な事業

- 令和3年7月豪雨災害関連事業**  
被災者生活応急復旧支援金…………… 3,570万円  
災害救助事業・災害ボランティアセンター運営事業…………… 1,990万円  
災害等廃棄物処理事業（塵芥）…………… 4,277万円  
災害応急復旧関連事業…………… 10億1,434万円  
など
- 新型コロナウイルス感染症対策関連事業**  
雲南市・飯南町事務組合負担金（FTTH整備事業）…………… 13億9,931万円  
住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金…………… 2億3,196万円  
子育て世帯に対する特別給付金…………… 5億3,251万円  
新型コロナウイルスワクチン接種関連事業…………… 2億6,942万円  
事業継続支援事業・事業継続特別給付金事業…………… 1億9,193万円  
など
- その他**  
加茂交流センター整備事業…………… 4億7,268万円  
地域づくり活動等支援事業…………… 2億8,434万円  
介護給付・訓練等給付事業…………… 11億6,101万円  
雲南市・飯南町事務組合負担金（清掃事業）…………… 7億1,693万円  
雲南加茂スマートインターチェンジ整備事業…………… 3億9,162万円  
道路維持・新設改良事業…………… 3億7,521万円  
デジタル防災行政無線整備事業…………… 1億3,800万円  
公立学校情報機器整備事業…………… 4億7,719万円  
小中学校教育用パソコン管理事業…………… 1億3,610万円  
など

主な財政指標

項目	数値	説明
健全化判断比率	実質赤字比率 該当なし (該当なし)	一般会計等（普通会計）を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率です。雲南市の場合は、12.62%以上で財政健全化団体に、20%以上で財政再生団体となります。
実質公債費比率	11.1% (11.3%)	公債費の水準を測る指標です。一般会計等（普通会計）が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率であり、従来から用いられてきた「起債制限比率」を見直し、実態をより正確に把握するため、公営企業会計に対する繰入金のうち元利償還金相当分などが要素に加えられています。この比率が25%以上になると財政健全化団体に、35%以上で財政再生団体となります。
将来負担比率	98.0% (106.3%)	地方債の残高をはじめ一般会計等（普通会計）が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率です。350%以上で財政健全化団体となります。
資金不足比率	該当なし (該当なし)	公営企業会計の資金不足額の事業規模に対する比率です。比率は各公営企業会計毎に算定することとされており、20%以上で経営健全化団体となり、財政健全化団体と同じように、公営企業の経営の健全化を図る計画を策定しなければなりません。
財政力指数	0.251 (0.255)	財政基盤の強さを表す指標です。財政力指数が高いほど自主財源の割合が高く、財政力が強いこととなります。
経常収支比率	94.3% (96.9%)	毎年経常的に支払わなければならない経費の状況から、財政運営の弾力性を測定する指標で、低いほど財政運営に弾力性があり、高いほど財政運営が硬直化している状況を表しています。
地方債現在高比率	214.0% (218.8%)	標準財政規模に対する地方債（長期に渡り返済する借金）の残高を表したもので、低いほど財政運営が安定しています。

# 令和3年度決算報告

## 1 公営企業会計

雲南市議会9月議会で認定された令和3年度公営企業会計決算をお知らせします。

問い合わせ先  
水道局総務課  
0854-423473

### 水道事業

**収益的収入（料金収入など）**  
および支出（施設維持管理費など）  
令和3年度末時点の給水戸数は1万4,980件、令和3年度の総給水量（料金収入の対象となった給水量）は341万2,982m<sup>3</sup>でした。総給水量を前年度と比較すると5万5,641m<sup>3</sup>（1.6%）の減少となりました。

総収益は、13億6,338万円、総費用は、12億2,342万円、総収益のうち水道料金を計上した額は、総収益のうち水道料金は8億1,109万円、総収益の62.1%を占めています。前年度と比較して総収益は2.0%減少、総費用は0.1%減少しています。

供給単価（有収水量1m<sup>3</sup>当たりの給水収益）は237円65銭、給水原価（水道水1m<sup>3</sup>当たりの経費）は289円66銭で、料金回収率は82.0%となりました。

**資本的支出（建設改良工事など）**  
資本的支出総額は7億6,411万円、企業債償還額は4億9,688万円でした。建設改良事業では大東町の山王寺本郷地区水道整備事業の工事に着手しました。生活基盤施設耐震化等交付金などを活用し、老朽管路の更新や耐震化、水道施設台帳システムの構築を行いました。

### 工業用水道事業

**収益的収入（料金収入など）**  
および支出（施設維持管理費など）  
工業用水道の年間契約水量は59万4,950m<sup>3</sup>、超過水量はありませんでした。前年度と比較して、超過水量が68,477m<sup>3</sup>（△100.0%）減少しています。

総収益は47,233万円、総費用は387,300万円で、850万円の純利益を計上しました。

### 下水道事業

**収益的収入（料金収入など）**  
および支出（施設維持管理費など）  
資本的支出の総額は35,200万円、うち建設改良費は23.9万円、企業債償還金は328.1万円でした。

令和3年度末時点の排水件数は536件、令和3年度の総排水量は144万4,344m<sup>3</sup>でした。総排水量を前年度と比較すると1万4,144m<sup>3</sup>（1.0%）の増加となりました。

総収益は、9億6,514万円、総費用は、8億2,839万円、1億3,675万円の純利益を計上しましたが、そのうち800.8万円は資本的収支の不足額の補てん財源として使用しています。総収益のうち下水道使用料は2億1,579万円、総収益の22.3%、一般会計からの繰入金4億7,856万円、49.6%を占めています。前年度と比較して総収益は4.4%減少、総費用は3.5%減少しています。

使用料単価（有収水量1m<sup>3</sup>あたりの使用料収入）は158円10銭、汚水処理原価（汚水1m<sup>3</sup>当たりの経費）は606円92銭で、経費回収率は26.0%となりました。

### 病院事業

**収益的収入（医療費収入など）**  
および支出（給与費、材料費、経費など）  
令和3年度の入院患者数は前年度に比べ減少しましたが、診療単価の増等により入院収益は前年度と比べ1億5,234万円の増収、外来収益は患者数が前年度に比べ増加したことにより58,677万円の増収となりました。また、新型コロナウイルス関連の受託料やコロナ病棟確保による補助金が前年度を大きく上回り、総収益は前年度と比べ7億2,280万円の増収となりました。

費用については、給与費、材料費、原油価格高騰に伴う光熱費・燃料費等の増額により、前年度と比べ2億8,768万円増額となりました。

掛合診療所については、総収益は前年度と比べ182.2万円増収となり、費用は555万円減額となりました。

結果、全体で2億5,029万円の経常利益および純利益となりました。内部留保金は単年度で7億7,161万円の蓄積が図れ、繰越内部留保金は26億6,213万円となりました。

**資本的支出（建設改良費等）**  
資本的支出の総額は4億3,597万円、うち建設改良費は1億3,066万円、企業債償還額は3億3,291万円でした。建設改良事業は、安全安心かつ良質な医療提供を行うため継続的な医療機器の更新や新規購入を行います。令和3年度は、病院に超音波診断装置の増設や調剤サーバーの更新等を、掛合診療所に血液分析装置の新規購入や電子カルテシステム更新等を行いました。

### 業務量

- 病床数 281床  
(一般病床155床(感染症2床含む)、地域包括ケア病床48床(感染症2床含む)、回復期リハビリ病床30床、医療療養病床48床)
- 延患者数、1日平均患者数、病床利用率

区分	延患者数(人)			1日平均患者数(人)			病床利用率(%)		
	令和2年度	令和3年度	増減	令和2年度	令和3年度	増減	令和2年度	令和3年度	増減
入院									
一般	50,473	51,518	▲1,045	138.3	141.1	▲2.8	89.2	91.1	▲1.9
包括ケア	5,943	5,067	▲876	16.3	13.9	▲2.4	33.9	28.9	▲5.0
回復期リハ	10,836	10,971	▲135	29.7	30.1	▲0.4	99.0	100.2	▲1.2
医療療養	14,811	13,948	▲863	40.6	38.2	▲2.4	84.5	79.6	▲4.9
入院計	82,063	81,504	▲559	224.8	223.3	▲1.5	80.0	79.5	▲0.5
外来									
病院計	92,215	96,246	▲4,031	379.5	397.7	▲18.2	-	-	-
診療所	7,603	7,204	▲399	31.3	34.1	▲2.8	-	-	-
外来計	99,818	103,450	▲3,632	410.8	431.8	▲21.0	-	-	-

### 財務諸表

令和3年度 雲南市病院事業会計 損益計算書 (令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)		令和3年度 雲南市病院事業会計 貸借対照表 (令和4年3月31日)	
医業収益	38億8,602万円	有形固定資産	92億5,280万円
医業外収益	14億6,408万円	投資その他の資産	5億4,137万円
訪問看護収益	6,546万円	現金預金	21億5,269万円
診療所収益	1億9,299万円	流動資産	
<b>経常収益①</b>	<b>55億2,485万円</b>	未収金	8億2,715万円
医業費用	48億6,527万円	貯蔵品他	1,402万円
医業外費用	2億4,468万円	<b>資産合計</b>	<b>127億8,803万円</b>
訪問看護費用	6,130万円	固定負債	
診療所費用	1億3,311万円	企業債	95億8,465万円
<b>経常費用②</b>	<b>52億7,456万円</b>	企業債	3億6,685万円
<b>経常利益③(①-②)</b>	<b>2億5,029万円</b>	未払金	2億1,756万円
特別利益④	0万円	引当金	1億6,460万円
特別損失⑤	0万円	その他流動負債	2,046万円
<b>当年度純利益(③+④-⑤)</b>	<b>2億5,029万円</b>	繰延収益	長期前受金 7億4,926万円
前年度繰越欠損金	12億7,784万円	<b>負債合計</b>	<b>111億3,388万円</b>
当年度未処理欠損金	10億2,755万円	資本金	27億1,220万円
		剰余金	利益剰余金 ▲10億2,755万円
		<b>資本合計</b>	<b>16億8,465万円</b>
		<b>負債・資本合計</b>	<b>127億8,803万円</b>

問い合わせ先  
雲南市立病院経営課  
0854-423473

令和3年度 雲南市下水道事業会計損益計算書 (令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)	令和3年度 雲南市工業用水道事業会計損益計算書 (令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)	令和3年度 雲南市水道事業会計損益計算書 (令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)
営業収益 2億6,993万円	営業収益 4,462万円	営業収益 8億3,550万円
営業外収益 6億9,521万円	営業外収益 261万円	営業外収益 4億7,088万円
<b>経常収益① 9億6,514万円</b>	<b>経常収益① 4,723万円</b>	<b>経常収益① 13億6,338万円</b>
営業費用 7億5,600万円	営業費用 3,081万円	営業費用 10億7,799万円
営業外費用 1億2,279万円	営業外費用 792万円	営業外費用 1億6,111万円
<b>経常費用② 8億2,839万円</b>	<b>経常費用② 3,873万円</b>	<b>経常費用② 11億8,410万円</b>
<b>当年度純利益(①-②) 1億3,675万円</b>	<b>当年度純利益(①-②) 850万円</b>	<b>特別損失③ 3,932万円</b>
前年度繰越利益剰余金 52万円	前年度繰越欠損金 3,987万円	前年度繰越利益剰余金 238万円
当年度未処分利益剰余金 1億3,727万円	当年度未処理欠損金 3,137万円	当年度未処分利益剰余金 8,534万円

令和3年度 雲南市下水道事業会計貸借対照表 (令和4年3月31日)	令和3年度 雲南市工業用水道事業会計貸借対照表 (令和4年3月31日)	令和3年度 雲南市水道事業会計貸借対照表 (令和4年3月31日)
固定資産 有形固定資産 139億9,851万円	固定資産 有形固定資産 3億6,984万円	固定資産 有形固定資産 140億7,997万円
流動資産 現金預金 1億4,274万円	流動資産 現金預金 1億2,502万円	固定資産 無形固定資産 2,611万円
未収金 1,308万円	未収金 125万円	流動資産 現金預金 19億1,840万円
<b>資産合計 141億6,033万円</b>	<b>資産合計 4億9,611万円</b>	流動資産 未収金 8,701万円
固定負債 企業債 53億3,324万円	固定負債 企業債 3億2,666万円	流動資産 貯蔵品 737万円
企業債 7億2,492万円	引当金 2,394万円	<b>資産合計 161億1,886万円</b>
未払金 2,138万円	流動負債 企業債 3,347万円	固定負債 企業債 51億7,994万円
引当金 1億6,460万円	流動負債 未払金 227万円	引当金 4,557万円
預り金 10万円	繰延収益 長期前受金 1,826万円	企業債 5億6,047万円
繰延収益 長期前受金 51億3,307万円	<b>負債合計 4億4,600万円</b>	未払金 4,632万円
<b>負債合計 112億2,102万円</b>	資本金 1億2,236万円	引当金 1,175万円
資本金 25億2,781万円	剰余金 資本剰余金 52万円	預り金 248万円
資本剰余金 1億9,581万円	剰余金 資本剰余金 2億1,137万円	その他流動負債 60万円
利益剰余金 2億1,569万円	<b>資本合計 9,151万円</b>	繰延収益 長期前受金 40億2,699万円
<b>資本合計 29億3,931万円</b>	<b>負債・資本合計 4億9,611万円</b>	<b>負債合計 97億9,539万円</b>
<b>負債・資本合計 141億6,033万円</b>		資本金 49億6,907万円
		資本剰余金 7億4,166万円
		利益剰余金 6億1,274万円
		<b>資本合計 63億2,347万円</b>
		<b>負債・資本合計 161億1,886万円</b>